

数理物理学連続講義のお知らせ

小川卓克教授（東北大学院理学研究科・数理科学連携研究センター）

講義題目：放物型方程式の最大正則性とその応用 1

日時：令和元年 11 月 29 日～11 月 30 日

場所：東京理科大学神楽坂キャンパス 11 号館地下 1 階 11-3 教室

講義概要：

形式的には、ケラー＝ジーゲル方程式の極限が半導体のモデルである移流拡散方程式になっているが、一般化最大正則性を用いて、このことが厳密に正しいことを示す（一回目目）。また、2 回目では端点最大正則性について議論する。

講義スケジュール

11 月 29 日（金）16:00～17:30 1 回目

11 月 30 日（土）16:00～17:30 2 回目

この講義は、総合研究院数理モデリングと数学解析研究部門の活動の一環として行われます。

東京理科大学総合研究院数理モデリングと数学解析研究部門
問い合わせ先：加藤圭一（kato@rs.tus.ac.jp）